

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年8月22日

事業者名: 株式会社カネモク

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	小径であり多くが燃料用チップとして使用される国産広葉樹に製材、乾燥、フローリング加工を施し、付加価値をつける。フローリング加工等において出た端材を燻製用チップに加工し、林業をはじめ飛騨高山の山林に還元し、山林環境に寄与する事を念頭に事業を行っております。	⑫つくる責任 つかう責任, ⑮森の豊かさを守ろう, ⑬気候変動に具体的な対策を	産地証明のついた飛騨高山産広葉樹を製材し、人工乾燥に使用するボイラ清缶剤には食品加工用を使用し、加工までを一貫して行うことにより、安心安全な広葉樹を暮らしに提供している。気候変動にも多くの良き対応要素を含む広葉樹林を護り、育てていく為にも付加価値をつけた商品を開発し、加工工程で出るパークはたい肥料へ、おが粉はキノコ菌床ブロックへ、端材は製紙用チップ、燻製用チップへ活用している。	指標	伐採の際に仕分けされた広葉樹の用材としての受け入れを増やす事を目指す。
				目標	R7年度までに広葉樹用材として30%受け入れを達成。
社会	他県の広葉樹を活用できていない自治体、企業、またインターンシップツアー見学場所として協力している。	⑰パートナーシップで目標を達成しよう, ④質の高い教育をみんなに, ⑧働きがいも経済成長も	3自治体、2企業、1インターンシップツアー受入。	指標	地元のインターンシップも含めて企業見学体験受入。
				目標	R7年度までに延べ8回の受入。
経済	社員の資格取得にかかる費用を負担。商品開発にかかる設備を積極的に導入し新たなチャレンジを後押し。	⑧働きがいも経済成長も, ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう, ⑫つくる責任 つかう責任	2名の資格取得。	指標	新たな資格の取得を支援。
				目標	R7年度までに4件の新たな資格取得を支援。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 毎朝の朝礼、月1回の社内会議において社内共有実施し、進捗状況の把握、事業の改善策を検討し共有。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 HP内に企業理念と共に取り組みを公表。 高山市SDGsパートナーシップ登録済。			